

# 市民参加制度調査審議会（令和2年度第1回）顛末

10/5-0930

日 時 令和2年8月27日（木）18時30分～19時45分

場 所 富良野文化会館1階 研修室

出席者 委 員：荏原委員、早川委員、青木委員、稲葉委員、山下委員

事務局：関澤企画振興課長、村上広聴広報係長、佐竹

## 1. 開会【事務局（関澤課長）】

本年4月の人事異動で業務変更があり市民協働課から企画振興課が担当になりました。委員の皆様には任期途中の変更になりますがよろしくお願い致します。今年度は3年に一度の制度の見直しの年となっていますので審議会の開催を複数回予定しています。

## 2. 会長あいさつ【荏原会長】

前任の瀬川さんに代わり審議会の代表を前年度から務めることになりました。今年度はコロナ禍で会議などを開けない状況が続いていましたが、市民の声を聴きながら取り組んでいきたいと思っております。

## 3. 議事【進行／荏原会長】

（前段） 富良野市情報共有と市民参加のルール条例について

※事務局（佐竹）より、資料を基に条例について説明を行った。

（1）令和元年度 市民参加手続 実施結果について

※事務局（佐竹）より報告・説明後、会長より各委員に意見を求めた。

⇒特になし

（2）令和2年度 市民参加手続 実施状況について

※事務局（佐竹）より報告・説明後、会長より各委員に意見を求めた。

⇒特になし

（3）市民参加制度の見直しについて

※事務局（佐竹）より過去3年間の説明後、会長より各委員に意見を求めた。

### 意見の内容

（荏原会長）15年分の実績を拝見しパブコメが多かったのは市民の関心あったのかなと思われました。ここまでメディアや携帯電話が発達した中でも、パブコメしづらい市民参加がしづらいという見えない壁が何となくあると思います。制度検証については平成29年度にまとめた意見書を基に検証致します。

（青木委員）広報は見やすくなっている。広報は問題ないと思う。

興味のある人は広報を読むが興味のない人は見ないと思う。

（会長）広報以外の情報共有の点で何か質問はありませんか。

(会長)では、パブコメの収集に仕方についてですが、ホームページだと調べてたどり着くのに手間がかかりますが、スマホからQRコードで一気にジャンプできるようにして直接意見を書き込めるようにするのはどうでしょうか。興味を持ち意見したい人が意見できる雰囲気生まれると思います。

(会長) 個人意見でパブコメの意見をいただくにはタイトルの文言が難しすぎ、「富良野市〇〇〇計画」と言われてもわからない。例えば、小学校の遊具を〇〇〇するのはいいでしょうかと対話みたいなものがあったらいいと思います。パブコメを気軽に言えるものに位置付ければよくなると思います。

(早川委員) もう少し砕いて市民に分かりやすい言葉で伝える論議ができれば市民もわかりやすくなると思う。職員の意識改革の検討が必要と思う。

(議長) 市民が興味を持つ工夫が大事で、市民の意見をより一層反映させるのが審議会の仕事。審議会のあり方は市民と一緒にまちを作っていくとあります。市民と市と一緒にやっていければ説明会はあるが、意見だけでもいただける方法がより身近なものになればよりいいものになると思います。

(山下委員) 行政側からは、担当以外のものが読んでもわからないくらい計画が出来上がり、市民の方が計画を読んで意見をするとところが難しいところがある。分厚いものを読んで意見するのは大変だと思う。

(山下委員) パブコメはできたものに意見をもらう最終確認。意見交換ワークショップは計画を作る前段のものなので意見の反映をしやすく有効と感じる。

(山下委員) 市総合計画も市民100人のワークショップを開いて計画に反映されている。仮に計画が全部できてパブコメで意見を求めてもなかなか意見が反映されないと思われるところもあると聞いている。そういう意味でワークショップに取り組むと前回の意見がそうだったと思う。この3年間でワークショップが多かったのか少なかったのかと判断することになると思う。

(事務局/佐竹) 市民参加の手法は1つ以上のものを採用するとあるので、最終案のパブコメが取られています。前段階で意見交換会、ワークショップは意見を反映しやすいものになりますが仕事量も増えることになります。

(稲葉委員) 質問が出づらいということは判りづらいということだが、決して分りづらくしようと思って作っているわけではない。例えば、改正の計画をつくる時には、アンケートをしたりして、どうやったら皆さんにわかっていただけるのか考えている。市が市民に対してどうやってわかっていただけるかが提案できればいい。

(会長) できるだけ効率的であればいい。QRコードもできるかどうか別にして提案をいただきたい。

(会長) 市の事業によりわかりやすくするため、審議会で何々についてどうですかとやると難しい。わかりやすい事業名にしてほしい。

(会長) 富良野市〇〇〇整備計画といってもわかりづらい。例えば、ナマコ山の木を伐採しますよ。皆さん意見はどうですかなど、わかりやすい提案はできないか。

(会長) 〇〇マスタープランといっても具体的で専門的な形は市民には難しい

(山下委員) わかりやすい計画がいいとあるが、国や道からこういう計画を作るべきだということもある。道路改善や補助金活用するための計画もあるので名称変更は難しい。市民の要望、意見を組んで、事業を進めるために、計画を立てているのであり、計画そのものが意見を無視しているわけではない。ただ、ホームページで計画を見るとかなりの枚数になりそれに対して意見は難しいと思う。

(議長) パブコメや市の政策に意見を出すのは難しいと感じます。次回までに平成29年度の意見をもとに事務局で意見書の案をまとめて作成してください。

(稲葉委員) 事務局へ。市民参加の前年度の集計結果で、アンケートの関係や政策に関係するアンケート、ワークショップ、パブリックコメントなどの集計の方法を統一してほしい。次回、統一した資料を作成してもらいたい。

(青木委員) 審議会の実績数が少ないように思えますが。

(事務局) 今回はパブコメに関係する審議会を取り上げているので少なくなっています。すべての審議会の結果はホームページで毎回出しています。

## 6. 閉会